

CAFE BALCONY CAFE

CAFE BALCONY

カフェ・バルコニーの家

CAFE BALCONY

通信

平成 24 年 3 月号 (第 22 号)

CAFE BALCONY CAFE BALCONY CAFE BALCONY



「カフェ・バルコニーの家通信」
平成 24 年 3 月号をお届けします。
春の訪れも真近かとはいえ、まだ
まだ寒い日が続いています。
インフルエンザ・風邪が流行って
います。手洗い・うがいを励行
しましょう。



「カフェ・バルコニーの家」の活動紹介



ガーデニングコーディネーターの認定を受けました。

カフェバルコニーの家に通う前から妹も植物を育てる事に興味があり、妹に誘われて、2010年の7月5日から、ガーデニングコーディネーター養成講座を受講していました。しかし、午前と午後に昼寝をするという生活で、犬の散歩もあり、レポートの提出も思うようにいきませんでした。この講座は8ヶ月で終了しなければいけなかったのですが、電話で受講延期の交渉をしたら快く受け入れてもらいました。しかも2回もです。本当に嬉しく思い日本園芸協会に対して感謝の気持ちで一杯でした。時間がかかりましたが最後までやり遂げる事ができました。理事長に認定証書をお見せしたらカフェバルコニーの家のリビングに飾ろうと言って下さり、事務局長も素敵な額縁を用意してくださいました。本当に嬉しくなりました。何度かくじけそうになりましたが最後までやり遂げる事ができてよかったと思います。早くも、庭をコーディネートしてほしいと申し出があり、涙が出るほど嬉しく思いました。

(K.H)





メンバーによる作品展示会をカフェ・バルコニーの家で開催しました。

・作品展示会準備作業

2月4日(土)作品展示会の準備をしました。たくさんのメンバーが協力し、多くの作品が集まりました。特に書は大きいものが2点、小さいものが5点も集まりました。また他の展示物として写真2点、絵1点、園芸写真(コメント付き)3点、魚の写真集1点、トールペインティング1点が集まりました。

当日はまず壁に掛っている大きい絵を下し、1階まで運んだあと、そこへ作品をかけていく作業をしました。元々かかっていた絵のクオリティが高いのでどこまで自分たちの作品がその代わりとして存在できるか気がかりでした。しかし、掛け終わった後の理事長のほっとしたような「いいわよ。いいわよ。」という言葉に自分たちはほっと肩をなでおろしました。

これでようやく自分たちが作っていくカフェバルコニーということを皆さんに知ってもらえる。これでようやくメンバーにもカフェバルコニーの家で活動する気持ちを強く持ってもらえるという目標の一段目が達成できるようになると思いました。

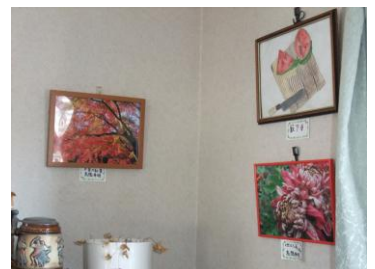
・作品展示会展示中の活動

2月6日(月)~20(月)の中間報告です。作品展示会が行われた初日、ホールを担当し、積極的に展示をアピールしていきました。そして少しでも多くの方に展示に関心を持ってもらいたいという気持ちから作った案内図とパンフレットを手渡して行きました。気持ちが通じたのか食事後に作品を見て回ってくださる方もおり、やってよかったなと感じました。

あと、ホールをやっていて思ったのが、こういった作品があると自然と話題を広げやすくなるということでした。やはり自分たちが作ったものなので想いがこもっていますし、その作品を作るにはその誕生秘話があるわけです。ですからそれだけ語る時にも言葉に熱がこもり、今まで以上にお客様とのコミュニケーションを図るきっかけにもなったのではないかと思います。

それがひいてはメンバーを知ってもらい地域の茶の間カフェバルコニーをより知ってもらい、地域と手を取ってメンバーが自立へ向けて社会参加することのステップとなることを願っています。

(高橋秀明)





「人生ここにあり！」の映画を見て～当事者検討会の一環として～

2月18日、習志野市民会館で「人生ここにあり！」という映画をスタッフ2名とメンバー6名で当事者検討会の一環として観賞しました。この映画はイタリアの映画で精神病院から患者を出そうと言う取り組みの下、外に出された精神障がい者達が協同組合を立ち上げ必死で仕事をし未来を切り開いていくというお話でした。映画の上映時間は2時間、作品は字幕だったのですが、ほどほどの長さだったので集中して見られました。

映画の後にスライドショーがあったのですが、そこでは現地の映画の背景を知ることができる説明が写真と伴になされより映画の理解を深めることができました。

映画でのメインテーマが「やればできる」という言葉だったので、そこから自分たちもその言葉に勇気をもらい出来ることを一歩ずつ着実に増やしていき、カフェバルコニーの中でより活躍できるようになりたいと思いました。

高橋秀明



参加者の感想

・最初はイタリア映画で字幕ということもあり字を読んでいるうちに絵の部分を見られるか不安でした。

自分達精神障害者ということで似たような境遇ということに共感を覚えて熱中して見ていました。

その人の病状によって出来ることと出来ないことがあり、支え合いながら仕事をする style という働き方というのが日本でも認められたら生きやすい世の中になると思いました。

途中一人の男性が亡くなってしまっ、それでも頑張ろうと立ち上がったとこなど、諦めず生きる強さも感じられ、自分も一緒になる予定の女性を亡くしてしまった経験があったので共感を覚えました。

諦めなければ終わりじゃない、希望は叶うなどのメッセージ性が伝わり感銘を受けました。最後の「やればできる」という文字がでたときにはときには思わず号泣してしまいました。

これを見て自分にもできそうなことをできるだけやってみようと思いが湧きました。

まだ見てない方にはぜひおすすめの作品です。

(T.I.)



メンバーからのメッセージ



ぬくもりの編み物作り

先月と2回にわたり編み物に触れて学んでいます。というのも編み物全般に興味があったからです。私は幼少の頃、手袋を編みたいという興味があったため、人から作り方の教えを受けて作っています。意外にシンプルなので楽しく進めることができます。編み物に触れ感じたことは上品で気立てのいいものだということです。今後は手芸以外にも興味を持ち、小物をそろえて様々な分野に取り組んでいきたいと思っています。

(F. K)



ボランティアさん紹介(信田さんを紹介します)

2012年2月からボランティアとして活動いただいている信田さんにインタビューしました。信田さんは2月からパソコンで会計をやっていただいています。

Q1 カフェバルコニーの家はどのようなきっかけで知りましたか？

A. 理事長と4年前からの知り合いだったのでその流れでカフェバルコニーの家があることを知りました。また友達の紹介でボランティアの募集があることを知りました。

Q2 カフェバルコニーの家は来たときどのような印象でしたか？

A. 皆さんが一生懸命前向きに働いていて好印象でした。また皆さんが仲が良く和やかな雰囲気居心地がよかったです。

Q3 何年くらいパソコンを使ってきましたか？

A. 2~30年近くになります。

Q4 どのようなパソコン業務をされてきましたか？

A. ワープロで塾の問題作成を10年やっていました。またいろいろな会社の伝票作成や会議の資料、社内報をワードで作成してしたり、エクセルで表計算をしてきました。

Q5 仕事への意気込みをお願いします。

A. 皆さんと手取り足取り、教わったり、教え合いながら頑張りたいです。またいろいろな人にカフェバルコニーの家を知っていただいてさらに前向きに皆が進めるようになってきたら嬉しいです。

いろいろな会社でたくさんのパソコンをしていた経験があるということですので、これからの活躍にとっても期待がかかります。

また皆さんと前向きに伴に頑張っていこうという意気込みに自分たちも励まされます。

これからもよろしくお願いします。

(高橋秀明)



カフェバルコニーの家からのお知らせ



1. カフェ・バルコニーの家のホームページをアップしました。
<http://www.cafe-balcony.jp> です。
2. NPO 法人「フェ・バルコニーの家」の理念に賛同頂き、ご支援下さる**賛助会員**を募っています。
入会金 2.000 円 年会費 3.000 円(1口)です。
賛助会員には通信を毎月お送りし、「カフェ・バルコニーの家」の諸行事にご招待いたします。
3. 「カフェ・バルコニーの家」の活動を支援して下さる**応援団**を募集しています。
年会費 1,000 円(郵便振替 郵便振替 00180-2-322417
NPO 法人カフェ・バルコニーの家) 振込用紙は各郵便局にあります。
詳しくは郵便局で。又は「カフェ・バルコニーの家」にご持参下さい。
4. 3月3日(土)10:00~11:30 神奈川県立精神医療センター芹が谷病院院長
川副泰成先生を迎え、「元気回復勉強会」を開催します。
ご家族に加えて、メンバーの参加も可です。参加費は無料ですので是非ご参加
ください。
5. 自立支援医療を受けている人は、社会的自立のために当会の活動に体験参加
できます。(体験料 1日200円)
6. 当会で2年間調理、接客訓練を受けた方は、**国家資格・調理師試験の受験
資格が得られます。(調理実習免除)**



<カフェ・バルコニーの家 通信 第22号 3月号>

- 発行場所 : カフェ・バルコニーの家
千葉市美浜区磯辺3-5-7
電話&FAX 043-377-3502
- 発行者 : 藪下 敦子
- 編集長 : 石川 恵一
- イラスト : 堀越 雅子
- HP : <http://www.cafe-balcony.jp>
- Email : cafe-balcony.mihama@cnc.jp